

香港証券取引決済所および香港証券取引所は、本書の内容について一切責任を負わず、本書の正確性または完全性について一切表明を行わず、また、本書の内容の全部または一部から発生し、または、それを信頼したことによるあらゆる損失に関する責任を明示的に否認します。



株式会社ダイナムジャパンホールディングス
(日本で設立された有限責任会社)
(証券コード: 6889)

代表執行役の追加選任に関するお知らせ

株式会社ダイナムジャパンホールディングス(以下「当社」)の取締役会(以下「取締役会」)は、佐藤公平氏が即時発効により当社の代表執行役に選任された旨、お知らせ致します。当社の取締役、取締役会議長及び現在の単独の執行役を兼務する佐藤洋治氏は引き続き当社のもう一方の代表執行役を兼務します。

佐藤公平氏(58歳)は、2000年6月以来、当社の完全子会社である株式会社ダイナム(以下「ダイナム」)の代表取締役社長を務めており、主にパチンコホール営業の監督ならびに日本のパチンコホールチェーンストア経営最大手としてのダイナムブランドの全体的な管理及び展開を担当しております。また、当社のみなし子会社に当たる一般社団法人の理事も務めております。

佐藤公平氏は1995年6月にダイナムに入社致しました。佐藤公平氏は職歴の大半をダイナムで積み、ダイナムの様々な部門で上級管理職を歴任してきました。1995年から2000年にかけて、ダイナムの経営企画室及び営業部を指揮し、2000年6月に代表取締役就任致しました。ダイナムにおけるこれまでの役職の歴任を通じて、佐藤公平氏はパチンコ業界で17年以上の経験を得るに至りました。

ダイナムに入社する以前、佐藤公平氏はニューヨーク証券取引所(NYSE: ATE)に株式を上場する大手半導体メーカーであるタケダ理研工業株式会社(現 株式会社アドバンテスト)で勤務致しました。1985年6月に、ニューヨーク証券取引所に株式を上場していたEastman Kodak Co. (NYSE: EK)の子会社であるコダック株式会社に入社致しました。

佐藤公平氏は1980年3月に東京農工大学の工学士を取得し、1982年8月にテネシー工科大学院で機械工学修士を取得致しました。

佐藤公平氏は佐藤洋治氏、西脇八重子氏、佐藤政洋氏、佐藤茂洋氏の実弟、佐藤恵子氏の義理の弟、また佐藤清隆氏の甥に当たり、各々は当社の主要株主であると共に支配株主でもあります。佐藤洋治氏は当社の取締役でもあります。

佐藤公平氏の年間報酬は、当社報酬委員会の決定により、無報酬となります。

本発表日現在で、佐藤公平氏は当社株式を506,669,120株(個人の持分55,139,680株と親族の持分451,529,440株を含む)保有しており、これは当社発行済株式数の約68.2%に相当します。

上記で開示されるものを除き、(a)佐藤公平氏は当社のあらゆる取締役、上級管理職、主要株主又は支配株主と如何なる関係も無く、(b)佐藤公平氏は本発表日の直前の 3 年間に香港又は海外の証券取引所において有価証券を上場する企業の取締役を務めておらず、(c)香港証券取引所の有価証券上場に関する規則の規則 13.51(2)に基づき開示可能な他の情報は無く、ならびに(d)佐藤公平氏の選任に関して当社株主が留意する必要が有る事項は他に有りません。

取締役会はこの機に佐藤公平氏を当社代表執行役として迎える所存です。

取締役会を代理して
株式会社ダイナムジャパンホールディングス
佐藤 洋治
議長 兼 代表執行役

2013 年 1 月 28 日、日本国、東京

本書の作成日において、当社の取締役は佐藤洋治氏、社外取締役は牛島憲明氏、独立社外取締役は、堀場勝英氏、高野一郎氏、吉田行雄氏、加藤光利氏およびトーマス・チュン・キー・イップ(Thomas Chun Kee YIP)氏です。